

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語 I（国語総合）	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業コマ数	18 コマ（1 コマ 100 分）	
授業概要	基本的な四字熟語やことわざ、文法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字 1
	2	漢字 2
	3	四字熟語 1
	4	四字熟語 2
	5	四字熟語 3
	6	四字熟語 4
	7	ことわざ 1
	8	ことわざ 2
	9	ことわざ 3
	10	ことわざ 4
	11	文法基礎 1
	12	文法基礎 2
	13	文法基礎 3
	14	文法基礎 4
	15	敬語 1
	16	敬語 2
	17	敬語 3
	18	敬語 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験 100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎言語Ⅱ（文章読解）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	要旨把握や内容合致を中心とした問題を解けるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握1 2 要旨把握2 3 要旨把握3 4 要旨把握4 5 要旨把握5 6 要旨把握6 7 内容合致1 8 内容合致2 9 内容合致3 10 内容合致4 11 内容合致5 12 内容合致6 13 文書整序1 14 文書整序2 15 文書整序3 16 文書整序4 17 文書整序5 18 文書整序6 19 文章の穴埋め1 20 文章の穴埋め2 21 文章の穴埋め3 22 文章の穴埋め4 23 文章の穴埋め5 24 文章の穴埋め6
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅲ（文章表現）	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業コマ数	18 コマ（1 コマ 100 分）	
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	論作文の書き方と正しい用紙の使い方 試験種別作文テーマの傾向 基本テーマによる作文 添削および返却答案の修正 模範作文の研究 1 模範作文の研究 2 作文練習 1 作文練習 2 作文練習 3 作文練習 4 作文練習 5 作文練習 6 作文練習 7 作文練習 8 作文練習 9 作文練習 10 作文練習 11 作文練習 12
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、提出した作文の完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会 I（政治）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40 時間
授業コマ数	24 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治の基本概念（国家論）</li> <li>2 政治制度論（社会契約説）</li> <li>3 政治制度論（三権分立）</li> <li>4 政治制度論（各国の政治制度）</li> <li>5 日本国憲法の特徴</li> <li>6 基本的人権総論</li> <li>7 幸福追求権</li> <li>8 平等権</li> <li>9 自由権</li> <li>10 社会権</li> <li>11 受益権</li> <li>12 憲法改正の手続き 1</li> <li>13 憲法改正の手続き 2</li> <li>14 国会の機構と運営 1</li> <li>15 国会の機構と運営 2</li> <li>16 内閣の機構と運営 1</li> <li>17 内閣の機構と運営 2</li> <li>18 裁判所の機構と運営 1</li> <li>19 裁判所の機構と運営 2</li> <li>20 地上自治 1</li> <li>21 地方自治 2</li> <li>22 政治過程論（選挙制度） 1</li> <li>23 政治過程論（選挙制度） 2</li> <li>24 政治の基本概念</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会Ⅱ（経済）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済社会の変容</li> <li>2 現代の企業1</li> <li>3 現代の企業2</li> <li>4 現代の市場1</li> <li>5 現代の市場2</li> <li>6 国民所得1</li> <li>7 国民所得2</li> <li>8 経済成長と景気循環1</li> <li>9 経済成長と景気循環2</li> <li>10 通貨制度と金融政策1</li> <li>11 通貨制度と金融政策2</li> <li>12 通貨制度と金融政策3</li> <li>13 財政制度と財政政策1</li> <li>14 財政制度と財政政策2</li> <li>15 財政制度と財政政策3</li> <li>16 日本経済の動向1</li> <li>17 日本経済の動向2</li> <li>18 日本経済の動向3</li> <li>19 貿易と外国為替1</li> <li>20 貿易と外国為替2</li> <li>21 貿易と外国為替3</li> <li>22 国際経済の動向1</li> <li>23 国際経済の動向2</li> <li>24 国際経済の動向3</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会Ⅲ（日本史）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大和政権と大化の改新</li> <li>2 平安時代</li> <li>3 平安時代の文化</li> <li>4 鎌倉時代</li> <li>5 室町時代</li> <li>6 鎌倉時代の文化</li> <li>7 室町時代の文化</li> <li>8 封建社会の確立 1</li> <li>9 封建社会の確立 2</li> <li>10 江戸時代（武断政治）</li> <li>11 江戸時代（文治政治）</li> <li>12 江戸時代（三大改革）</li> <li>13 江戸時代（幕末）</li> <li>14 明治維新 1</li> <li>15 明治維新 2</li> <li>16 立憲体制の確立 1</li> <li>17 立憲体制の確立 2</li> <li>18 近代文化の発展 1</li> <li>19 近代文化の発展 2</li> <li>20 大正時代 1</li> <li>21 大正時代 2</li> <li>22 昭和時代 1</li> <li>23 昭和時代 2</li> <li>24 昭和時代 3</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会Ⅳ（世界史）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	古代、西洋、東洋の歴史およびと第2次世界大戦以降の世界史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な歴史の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 四大文明</li> <li>2 古代ギリシャ</li> <li>3 古代ローマ</li> <li>4 中世ヨーロッパ</li> <li>5 ルネサンス</li> <li>6 大航海時代</li> <li>7 宗教改革</li> <li>8 絶対主義</li> <li>9 イギリス市民革命</li> <li>10 アメリカ独立革命</li> <li>11 フランス革命</li> <li>12 ウィーン体制</li> <li>13 19世紀のヨーロッパ</li> <li>14 第一次世界大戦</li> <li>15 殷、周</li> <li>16 秦、漢</li> <li>17 魏晋南北朝、隋、唐</li> <li>18 宋、元</li> <li>19 明、清</li> <li>20 清の崩壊</li> <li>21 ヴェルサイユ体制</li> <li>22 第二次世界大戦</li> <li>23 第二次世界大戦後の世界 1</li> <li>24 第二次世界大戦後の世界 2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会VI（地理）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界の地形（山地と平野）</li> <li>2 世界の地形（様々な地形）</li> <li>3 世界の気候（熱帯）</li> <li>4 世界の気候（乾燥帯）</li> <li>5 世界の気候（冷帯）</li> <li>6 世界の気候（寒帯）</li> <li>7 世界の気候（温帯）</li> <li>8 世界の農業（アジア）</li> <li>9 世界の農業（ヨーロッパ）</li> <li>10 世界の農業（アメリカ）</li> <li>11 世界の農業（オセアニア）</li> <li>12 世界の資源1</li> <li>13 世界の資源2</li> <li>14 世界の工業1</li> <li>15 世界の工業2</li> <li>16 世界地誌（アジア）</li> <li>17 世界地誌（アフリカ）</li> <li>18 世界地誌（ヨーロッパ）</li> <li>19 世界地誌（アメリカ）</li> <li>20 世界地誌（オセアニア）</li> <li>21 生活と地域1</li> <li>22 生活と地域2</li> <li>23 日本地誌1</li> <li>24 日本地誌2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	



## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会Ⅶ（社会時事）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	労働問題・環境問題など、社会分野の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な社会問題の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会理論 1 2 社会理論 2 3 社会理論 3 4 社会理論 4 5 労働問題 1 6 労働問題 2 7 労働問題 3 8 労働問題 4 9 社会保障 1 10 社会保障 2 11 社会保障 3 12 社会保障 4 13 環境問題 1 14 環境問題 2 15 環境問題 3 16 環境問題 4 17 国際関係 1 18 国際関係 2 19 国際関係 3 20 国際関係 4 21 社会総復習 1 22 社会総復習 2 23 社会総復習 3 24 社会総復習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数学 I（数学）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	18 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 数と式 2 方程式 3 関数 1 4 関数 2 5 式と図形 6 不等式と領域 7 微分積分 1 8 微分積分 2 9 指数 1 10 指数 2 11 対数 1 12 対数 2 13 三角関数 1 14 三角関数 2 15 ベクトル 1 16 ベクトル 2 17 数と体系 1 18 数と体系 2
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験 100% 10 題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数学Ⅱ（数的推理）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	36コマ（1コマ100分）
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数と文字式の計算</li> <li>2 方程式（方程式）</li> <li>3 方程式（不等式、過不足算）</li> <li>4 方程式（平均算）</li> <li>5 方程式（年齢算）</li> <li>6 整数・計算パズル（約数と倍数） 1</li> <li>7 整数・計算パズル（約数と倍数） 2</li> <li>8 整数・計算パズル（割り算の余り）</li> <li>9 整数・計算パズル（整数の性質）</li> <li>10 整数・計算パズル（カレンダー）</li> <li>11 整数・計算パズル（数列、魔法陣）</li> <li>12 整数・計算パズル（虫食算、覆面算）</li> <li>13 整数・計算パズル（n進法）</li> <li>14 割合と比（割合）</li> <li>15 割合と比（比）</li> <li>16 割合と比（売買算）</li> <li>17 割合と比（濃度）</li> <li>18 速さ（速さ） 1</li> <li>19 速さ（速さ） 2</li> <li>20 速さ（旅人算） 1</li> <li>21 速さ（旅人算） 2</li> <li>22 速さ（通過算）</li> <li>23 速さ（流水算）</li> <li>24 速さ（時計算）</li> <li>25 仕事算（仕事算） 1</li> <li>26 仕事算（仕事算） 2</li> <li>27 仕事算（給排水算）</li> <li>28 仕事算（ニュートン算）</li> <li>29 場合の数（場合の数）</li> <li>30 場合の数（順列） 1</li> <li>31 場合の数（順列） 2</li> <li>32 場合の数（組合せ）</li> <li>33 場合の数（道順）、確率（事象と確率）</li> <li>34 確率（赤玉白玉、くじ引き） 1</li> <li>35 確率（赤玉白玉、くじ引き） 2</li> <li>36 確率（サイコロ・コイン）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数学Ⅲ（判断推理）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	36コマ（1コマ100分）
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 論理（対偶）</li> <li>2 論理（三段論法）</li> <li>3 論理（確定条件）</li> <li>4 論理（複合命題の分解）</li> <li>5 集合の要素の個数（2つのベン図）</li> <li>6 集合の要素の個数（3つのベン図）</li> <li>7 集合の要素の個数（キャロル図）</li> <li>8 順序の決定（順序の決定）1</li> <li>9 順序の決定（順序の決定）2</li> <li>10 順序の決定（順序の変動）1</li> <li>11 順序の決定（順序の変動）2</li> <li>12 順序の決定（順序の数値条件）1</li> <li>13 順序の決定（順序の数値条件）2</li> <li>14 対応（対応関係）1</li> <li>15 対応（対応関係）2</li> <li>16 対応（対応の数値条件）1</li> <li>17 対応（対応の数値条件）2</li> <li>18 対応（スケジュール）1</li> <li>19 対応（スケジュール）2</li> <li>20 位置と方位（位置）1</li> <li>21 位置と方位（位置）2</li> <li>22 位置と方位（議長席）</li> <li>23 位置と方位（円卓）</li> <li>24 位置と方位（道をへだてて）</li> <li>25 位置と方位（方位）</li> <li>26 勝ち負け（トーナメント戦）</li> <li>27 勝ち負け（リーグ戦）</li> <li>28 カードゲーム（カード）</li> <li>29 カードゲーム（ゲーム）</li> <li>30 ウソの発言（該当者）</li> <li>31 ウソの発言（半分ウソ半分ホント）</li> <li>32 ウソの発言（グループ分け）</li> <li>33 推理・手順（推理）</li> <li>34 推理・手順（手順）</li> <li>35 暗号</li> <li>36 家系図</li> </ol>
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数学Ⅳ（空間把握）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60 時間
授業コマ数	36 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 折り紙</li> <li>2 回転の軌跡</li> <li>3 正多面体・展開図（正多面体）</li> <li>4 正多面体・展開図（展開図）</li> <li>5 平面図形の構成（平面図形中の図形の数）</li> <li>6 平面図形の構成（平面図形の合成）</li> <li>7 サイコロ（サイコロの一致、重ねたサイコロ、サイコロを転がす）</li> <li>8 見取図と投影図</li> <li>9 積木</li> <li>10 立体の切断・回転体（立体の切断）</li> <li>11 立体の切断・回転体（回転体）</li> <li>12 一筆書き</li> <li>13 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 1</li> <li>14 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 2</li> <li>15 平面図形の計量（相似比） 1</li> <li>16 平面図形の計量（相似比） 2</li> <li>17 平面図形の計量（面積比） 1</li> <li>18 平面図形の計量（面積比） 2</li> <li>19 平面図形の計量（角度、円①） 1</li> <li>20 平面図形の計量（角度、円①） 2</li> <li>21 平面図形の計量（円②） 1</li> <li>22 平面図形の計量（円②） 2</li> <li>23 平面図形の計量（扇形と移動図形） 1</li> <li>24 平面図形の計量（扇形と移動図形） 2</li> <li>25 立体図形の計量（立体の体積） 1</li> <li>26 立体図形の計量（立体の体積） 2</li> <li>27 立体図形の計量（立体の表面積・断面積） 1</li> <li>28 立体図形の計量（立体の表面積・断面積） 2</li> <li>29 立体図形の計量（立体の体積比） 1</li> <li>30 立体図形の計量（立体の体積比） 2</li> <li>31 空間把握総復習 1</li> <li>32 空間把握総復習 2</li> <li>33 平面図形総復習 1</li> <li>34 平面図形総復習 2</li> <li>35 立体図形総復習 1</li> <li>36 立体図形総復習 2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学Ⅴ（資料解釈）	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	12コマ（1コマ100分）	
授業概要	数学的な基礎知識や、表やグラフを読み解く力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	資料（表・グラフ）を理解し、そこから正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	資料解釈（実数・割合1）
	2	資料解釈（実数・割合2）
	3	資料解釈（実数・割合3）
	4	資料解釈（構成比1）
	5	資料解釈（構成比2）
	6	資料解釈（指数1）
	7	資料解釈（指数2）
	8	資料解釈（増加率1）
	9	資料解釈（増加率2）
	10	資料解釈（増加率3）
	11	資料解釈（いろいろな資料1）
	12	資料解釈（いろいろな資料2）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学 I（生物・化学）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40 時間
授業コマ数	24 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、物質の仕組みや変化の化学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	生体における知識を身に着け、化学反応現象を反応式で解けるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体の構造</li> <li>2 生体内の代謝 1</li> <li>3 生体内の代謝 2</li> <li>4 生殖と発生 1</li> <li>5 生殖と発生 2</li> <li>6 遺伝と変異 1</li> <li>7 遺伝と変異 2</li> <li>8 刺激の受容と反応 1</li> <li>9 刺激の受容と反応 2</li> <li>10 内部環境の恒常性と調節 1</li> <li>11 内部環境の恒常性と調節 2</li> <li>12 からだの防衛反応</li> <li>13 生物の集団</li> <li>14 生物の進化と系統</li> <li>15 物質の構造</li> <li>16 化学結合 1</li> <li>17 化学結合 2</li> <li>18 物質の状態 1</li> <li>19 物質の状態 2</li> <li>20 酸化と還元 1</li> <li>21 酸化と還元 2</li> <li>22 無機化合物</li> <li>23 有機化合物</li> <li>24 生活と環境の化学</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験 100% 25 題の基本的な知識を測定する試験
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅱ（物理・地学）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	運動・熱・電気などの仕組みを知る、地球の内部構造から宇宙までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	公式を基に答えを導ける、地球を中心とした地学知識を広げる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動の表現</li> <li>2 力</li> <li>3 運動方程式</li> <li>4 エネルギー</li> <li>5 運動量</li> <li>6 熱</li> <li>7 波動</li> <li>8 電気と磁力</li> <li>9 原子</li> <li>10 地球の姿と動く大地 1</li> <li>11 地球の姿と動く大地 2</li> <li>12 地震 1</li> <li>13 地震 2</li> <li>14 岩石</li> <li>15 大気と海洋 1</li> <li>16 大気と海洋 2</li> <li>17 気象現象</li> <li>18 日本の四季</li> <li>19 太陽系と宇宙の構造 1</li> <li>20 太陽系と宇宙の構造 2</li> <li>21 太陽系と惑星 1</li> <li>22 太陽系と惑星 2</li> <li>23 恒星の世界 1</li> <li>24 恒星の世界 2</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基本的な知識を測定する試験
備考	



## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合演習XI（官庁・企業研究）
実務家教員	○
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	60時間
授業コマ数	36コマ（1コマ100分）
授業概要	時事テーマについての情報収集、研究および意見をまとめ発表する
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	時事知識を深めるだけでなく、組織での仕事の進め方を身に付けさせる
教科書	なし
特記	実務者（現職の市役所職員）が携わった各種事業の実績を踏まえて講義及び実習を展開
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実務者による講義</li> <li>2 情報収集と考察 テーマ1</li> <li>3 情報収集と考察 テーマ2</li> <li>4 情報収集と考察 テーマ3</li> <li>5 情報収集と考察 テーマ4</li> <li>6 情報収集とグループワーク テーマ1</li> <li>7 情報収集とグループワーク テーマ2</li> <li>8 情報収集とグループワーク テーマ3</li> <li>9 情報収集とグループワーク テーマ4</li> <li>10 情報収集とグループワーク テーマ5</li> <li>11 研究テーマ決定</li> <li>12 テーマの研究1</li> <li>13 テーマの研究2</li> <li>14 テーマの研究3</li> <li>15 テーマの研究4</li> <li>16 テーマの研究5</li> <li>17 テーマの研究6</li> <li>18 研究発表シナリオ作成1</li> <li>19 研究発表シナリオ作成2</li> <li>20 研究発表シナリオ作成3</li> <li>21 研究発表シナリオ作成4</li> <li>22 研究発表シナリオ作成5</li> <li>23 発表資料作成1</li> <li>24 発表資料作成2</li> <li>25 発表資料作成3</li> <li>26 発表資料作成4</li> <li>27 発表資料作成5</li> <li>28 研究発表準備1</li> <li>29 研究発表準備2</li> <li>30 研究発表準備3</li> <li>31 研究発表準備4</li> <li>32 研究発表準備5</li> <li>33 模擬プレゼンテーション</li> <li>34 模擬プレゼンテーション</li> <li>35 研究発表プレゼンテーション</li> <li>36 研究発表プレゼンテーション</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会Ⅴ（思想）	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	12コマ（1コマ100分）	
授業概要	西洋および東洋の思想・倫理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な思想・倫理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家
	2	経験論
	3	合理論
	4	問題演習 1
	5	観念論
	6	功利主義
	7	プラグマティズム
	8	問題演習 2
	9	実存主義
	10	日本の思想家
	11	諸子百家
	12	問題演習 3
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合演習Ⅱ（漢字）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び問題演習
授業時間	30時間
授業コマ数	18コマ（1コマ100分）
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓読み・送り仮名</li> <li>2 熟語1</li> <li>3 熟語2</li> <li>4 異字同訓・同音異義</li> <li>5 誤字訂正1</li> <li>6 誤字訂正2・類義語</li> <li>7 反対語1</li> <li>8 反対語2</li> <li>9 漢字の意味・使い方1</li> <li>10 漢字の意味・使い方2</li> <li>11 項目別模擬試験1</li> <li>12 項目別模擬試験2</li> <li>13 項目別模擬試験3</li> <li>14 直前模擬試験1</li> <li>15 直前模擬試験2</li> <li>16 直前模擬試験3</li> <li>17 直前模擬試験4</li> <li>18 直前模擬試験5</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	計算実務
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び問題演習
授業時間	30時間
授業コマ数	18コマ（1コマ100分）
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能検定に合格する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 電卓の基礎知識</li> <li>2 姿勢・数字の書き方</li> <li>3 各部の機能</li> <li>4 キータッチの練習</li> <li>5 応用練習</li> <li>6 加減算のやり方</li> <li>7 加減算演習①</li> <li>8 加減算演習②</li> <li>9 見取り算のやり方</li> <li>10 見取り算演習①</li> <li>11 見取り算演習②</li> <li>12 乗除算のやり方</li> <li>13 乗除算演習①</li> <li>14 乗除算演習②</li> <li>15 伝票算のやり方</li> <li>16 伝票算演習</li> <li>17 電卓実践演習①</li> <li>18 電卓実践演習②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合演習Ⅳ（ビジネス行動論）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習を行い習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電話対応のマナー 1 2 電話対応のマナー 2 3 電話対応のマナー 3 4 電話の受け方 1 5 電話の受け方 2 6 電話の受け方 3 7 効果測定 1 8 効果測定 2 9 電話のかけ方 1 10 電話のかけ方 2 11 電話のかけ方 3 12 効果測定 3 13 効果測定 4 14 状況の電話対応 1 15 状況の電話対応 2 16 状況の電話対応 3 17 状況の電話対応 4 18 状況の電話対応 5 19 効果測定 5 20 効果測定 6 21 効果測定 7 22 効果測定 8 23 効果測定 9 24 効果測定 10
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合演習Ⅶ（卒業研究）	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員学科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）	
授業概要	法学・防災・地方行政各分野の実務経験者による講義並びにグループワークによる事例研究を通じて実践的な知識を習得する	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	グループワークなどを通じた各分野の課題解決能力の習得	
教科書	なし	
特記	担当講師は、消防吏員として3年勤務し、勤務していた自治体の事例等を踏まえた講義を基にした実習を展開	
授業計画	1	法学概論(実務者による講義)
	2	法学演習(事例研究・グループワーク) 1
	3	法学演習(事例研究・グループワーク) 2
	4	法学演習(事例研究・グループワーク) 3
	5	法学演習(事例研究・グループワーク) 4
	6	法学演習(事例研究・グループワーク) 5
	7	法学演習(事例研究・グループワーク) 6
	8	法学演習(事例研究・グループワーク) 7
	9	法学演習(事例研究・グループワーク) 8
	10	法学演習(事例研究・グループワーク) 9
	11	法学演習(事例研究・グループワーク) 10
	12	法学演習(事例研究・グループワーク) 11
	13	防災概論(実務者による講義)
	14	防災概論(事例研究・グループワーク) 1
	15	防災概論(事例研究・グループワーク) 2
	16	防災概論(事例研究・グループワーク) 3
	17	防災概論(事例研究・グループワーク) 4
	18	防災概論(事例研究・グループワーク) 5
	19	防災概論(事例研究・グループワーク) 6
	20	防災概論(事例研究・グループワーク) 7
	21	防災概論(事例研究・グループワーク) 8
	22	防災概論(事例研究・グループワーク) 9
	23	防災概論(事例研究・グループワーク) 10
	24	防災概論(事例研究・グループワーク) 11
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合演習Ⅸ（接遇論・マナー実践）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	60 時間
授業コマ数	36 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 1 3 身だしなみと立ち居振る舞い 2 4 敬語とビジネス用語 1 5 敬語とビジネス用語 2 6 応接・接遇のマナー 1 7 応接・接遇のマナー 2 8 電話応対基礎編（講義①） 9 電話応対基礎編（練習 1） 10 電話応対基礎編（練習 2） 11 電話応対基礎編（実践練習 1） 12 電話応対基礎編（実践練習 2） 13 電話応対応用編（講義②） 14 電話応対応用編（練習 1） 15 電話応対応用編（練習 2） 16 電話応対応用編（実践練習 1） 17 電話応対応用編（実践練習 2） 18 模擬効果測定準備 19 模擬効果測定 20 模擬効果測定結果検証 21 伝言を含む電話応対（講義① 1） 22 伝言を含む電話応対（講義① 2） 23 伝言を含む電話応対（練習 1） 24 伝言を含む電話応対（練習 2） 25 伝言を含む電話応対（講義② 1） 26 伝言を含む電話応対（講義② 2） 27 伝言を含む電話応対（練習 1） 28 伝言を含む電話応対（練習 2） 29 伝言を含む電話応対（実践練習 1） 30 伝言を含む電話応対（実践練習 2） 31 伝言を含む電話応対（実践練習 3） 32 伝言を含む電話応対（実践練習 4） 33 伝言を含む電話応対（実践練習 5） 34 効果測定準備 1 35 効果測定準備 2 36 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定 100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合演習ⅩⅡ（時事研究）
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期・2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び問題演習
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野1） 2 時事（政治分野2） 3 時事（政治分野3） 4 時事（政治分野4） 5 時事（政治分野5） 6 時事（経済分野1） 7 時事（経済分野2） 8 時事（経済分野3） 9 時事（経済分野4） 10 時事（経済分野5） 11 時事（文化1） 12 時事（文化2） 13 時事（文化3） 14 時事（文化4） 15 時事（文化5） 16 時事（科学1） 17 時事（科学2） 18 時事（科学3） 19 時事（科学4） 20 時事（国際問題1） 21 時事（国際問題2） 22 時事（国際問題3） 23 時事（国際問題4） 24 時事（国際問題5）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価
備考	



## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	面接試験対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	1学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	公務員合格に必要な知識、コミュニケーション能力を養うための授業及び実習
授業の進め方	公務員面接試験の傾向に促したテキストを使用し、身だしなみ、受け答え、自己分析などの確認を行なう
達成目標	面接試験合格に必要な基礎的な知識やコミュニケーションスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト及び補助プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接の重要性、入退室の仕方</li> <li>2 挨拶・入退室練習1</li> <li>3 挨拶・入退室練習2</li> <li>4 入退室効果測定1</li> <li>5 入退室効果測定2</li> <li>6 自己PR作成、自己分析1</li> <li>7 自己PR作成、自己分析2</li> <li>8 自己PR作成、自己分析3</li> <li>9 性格適性試験</li> <li>10 面接効果測定①-1(自己PRのみ)</li> <li>11 面接効果測定①-2(自己PRのみ)</li> <li>12 面接質問項目作成1</li> <li>13 面接質問項目作成2</li> <li>14 面接効果測定②-1(自己PR完成・その他面接質問項目)</li> <li>15 面接効果測定②-2(自己PR完成・その他面接質問項目)</li> <li>16 受験先シミュレーション、願書記入</li> <li>17 面接カードの作成1</li> <li>18 面接カードの作成2</li> <li>19 模擬公務員試験1</li> <li>20 模擬公務員試験2</li> <li>21 模擬公務員試験3</li> <li>22 面接効果測定③-1(面接カード)</li> <li>23 面接効果測定③-2(面接カード)</li> <li>24 面接対策の振り返り</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	面接試験対策Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
授業時間	40時間
授業コマ数	24コマ（1コマ100分）
授業概要	公務員合格に必要な知識、コミュニケーション能力を養うための実践中心の授業及び実習
授業の進め方	公務員面接試験の傾向に合わせて個別面接や集団面接、集団討論などの実践的な練習を行なう
達成目標	面接試験に合格できるレベルの知識及びスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト及び補助プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 集団面接基礎レクチャー</li> <li>2 集団面接実践1</li> <li>3 集団面接実践2</li> <li>4 集団面接実践3</li> <li>5 集団討論基礎レクチャー</li> <li>6 集団討論実践1</li> <li>7 集団討論実践2</li> <li>8 春期公務員試験面接対策1</li> <li>9 春期公務員試験面接対策2</li> <li>10 国家公務員試験面接対策1</li> <li>11 国家公務員試験面接対策2</li> <li>12 秋期公務員試験面接対策1</li> <li>13 秋期公務員試験面接対策2</li> <li>14 秋期公務員試験面接対策3</li> <li>15 効果測定1</li> <li>16 効果測定2</li> <li>17 効果測定3</li> <li>18 効果測定4</li> <li>19 効果測定5</li> <li>20 効果測定6</li> <li>21 効果測定7</li> <li>22 効果測定8</li> <li>23 効果測定9</li> <li>24 効果測定10</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	適性検査演習
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び問題演習
授業時間	40 時間
授業コマ数	24 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 適性試験パターン 1 の解答方法</li> <li>2 適性試験パターン 1 の練習</li> <li>3 適性試験パターン 2 の解答方法</li> <li>4 適性試験パターン 2 の練習</li> <li>5 適性試験パターン 3 の解答方法</li> <li>6 適性試験パターン 3 の練習</li> <li>7 適性試験練習 1</li> <li>8 適性試験練習 2</li> <li>9 適性試験練習 3</li> <li>10 適性試験練習 4</li> <li>11 適性試験練習 5</li> <li>12 適性試験練習 6</li> <li>13 適性試験練習 7</li> <li>14 適性試験練習 8</li> <li>15 模擬試験（適性試験） 1</li> <li>16 模擬試験（適性試験） 2</li> <li>17 模擬試験（適性試験） 3</li> <li>18 模擬試験（適性試験） 4</li> <li>19 模擬試験（適性試験） 5</li> <li>20 模擬試験（適性試験） 6</li> <li>21 模擬試験（適性試験） 7</li> <li>22 模擬試験（適性試験） 8</li> <li>23 模擬試験（適性試験） 9</li> <li>24 模擬試験（適性試験） 10</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験 100% 模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び問題演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	18 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一般教養力検定 2 級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出題科目の分野別学習 1</li> <li>2 出題科目の分野別学習 2</li> <li>3 出題科目の分野別学習 3</li> <li>4 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 1</li> <li>5 模擬試験の解説（知能系科目）</li> <li>6 模擬試験の解説（知識系科目）</li> <li>7 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 2</li> <li>8 模擬試験の解説（知能系科目）</li> <li>9 模擬試験の解説（知識系科目）</li> <li>10 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 3</li> <li>11 模擬試験の解説（知能系科目）</li> <li>12 模擬試験の解説（知識系科目）</li> <li>13 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 4</li> <li>14 模擬試験の解説（知能系科目）</li> <li>15 模擬試験の解説（知識系科目）</li> <li>16 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 5</li> <li>17 模擬試験の解説（知能系科目）</li> <li>18 模擬試験の解説（知識系科目）</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験 100% 模擬試験における得点で評価
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	18コマ（1コマ100分）	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章の作成③
	4	文章内の移動①
	5	文章内の移動②
	6	文章内の移動③
	7	文章の書式設定①
	8	文章の書式設定②
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	11	文章の印刷、保存①
	12	文章の印刷、保存②
	13	文字列・段落の挿入①
	14	文字列・段落の挿入②
	15	文字列・段落の書式設定①
	16	文字列・段落の書式設定②
	17	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	18	文字列・段落の並び替え、グループ化②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	OA基礎知識
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	18コマ（1コマ100分）
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文章の作成1</li> <li>2 文章の作成2</li> <li>3 文章内の移動</li> <li>4 文章の書式設定1</li> <li>5 文章の書式設定2</li> <li>6 オプションの設定、表示のカスタマイズ</li> <li>7 文章の印刷、保存</li> <li>8 文字列・段落の挿入</li> <li>9 文字列・段落の書式設定1</li> <li>10 文字列・段落の書式設定2</li> <li>11 文字列・段落の並び替え、グループ化1</li> <li>12 文字列・段落の並び替え、グループ化2</li> <li>13 問題演習1</li> <li>14 問題演習2</li> <li>15 問題演習3</li> <li>16 問題演習4</li> <li>17 問題演習5</li> <li>18 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期・3学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	18コマ（1コマ100分）	
授業概要	グループディスカッション形式の政策研究討議、研究発表会	
授業の進め方	グループディスカッション形式の政策研究討議を実施し、発表準備（シナリオ作成、プレ発表）及び発表会	
達成目標	グループワークによる政策研究・発表力の育成、向上を目指す	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	講義・演習 1
	2	講義・演習 2
	3	グループディスカッション形式の政策研究討議 1
	4	グループディスカッション形式の政策研究討議 2
	5	グループディスカッション形式の政策研究討議 3
	6	グループディスカッション形式の政策研究討議 4
	7	グループディスカッション形式の政策研究討議 5
	8	グループディスカッション形式の政策研究討議 6
	9	グループディスカッション形式の政策研究討議 7
	10	研究発表プレゼンテーション講義
	11	研究発表プレゼンテーション発表準備（シナリオ作成） 1
	12	研究発表プレゼンテーション発表準備（シナリオ作成） 2
	13	研究発表プレゼンテーション発表準備（シナリオ作成） 3
	14	研究発表プレゼンテーション発表準備（プレ発表）
	15	研究発表プレゼンテーション発表準備（シナリオ作成） 1
	16	研究発表プレゼンテーション発表準備（シナリオ作成） 2
	17	研究発表プレゼンテーション発表準備（シナリオ作成） 3
	18	研究発表プレゼンテーション発表会
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果によるプレゼンテーションを評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	18 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 接遇マナーとは 1</li> <li>2 接遇マナーとは 2</li> <li>3 接遇マナーとは 3</li> <li>4 接遇マナーとは 4</li> <li>5 接遇マナーとは 5</li> <li>6 笑顔・お辞儀</li> <li>7 正しい敬語の使い方 1</li> <li>8 正しい敬語の使い方 2</li> <li>9 正しい敬語の使い方 3</li> <li>10 正しい敬語の使い方 4</li> <li>11 正しい敬語の使い方 5</li> <li>12 応対の基本 1</li> <li>13 応対の基本 2</li> <li>14 応対の基本 3</li> <li>15 演習（ロールプレイング） 1</li> <li>16 演習（ロールプレイング） 2</li> <li>17 演習（ロールプレイング） 3</li> <li>18 効果測定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	



## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記概論
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40 時間
授業コマ数	24 コマ（1 コマ 100 分）
授業概要	資産負債中心観を中心とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原稿基準の理論体系の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 簿記の目的1</li> <li>2 簿記の目的2</li> <li>3 簿記一巡1</li> <li>4 簿記一巡2</li> <li>5 商品売買1</li> <li>6 商品売買2</li> <li>7 現金および預金</li> <li>8 手形および電子記録債権・債務1</li> <li>9 手形および電子記録債権・債務2</li> <li>10 有形固定資産</li> <li>11 その他の債権および債務1</li> <li>12 その他の債権および債務2</li> <li>13 株式会社の資本1</li> <li>14 株式会社の資本2</li> <li>15 税金1</li> <li>16 税金2</li> <li>17 その他の勘定および訂正仕訳1</li> <li>18 その他の勘定および訂正仕訳2</li> <li>19 決算1</li> <li>20 決算2</li> <li>21 決算3</li> <li>22 その他の決算整理1</li> <li>23 その他の決算整理2</li> <li>24 その他の決算整理3</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	